

近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所	配布日時 平成26年8月11日 17時00分
資料配付	

件名	台風11号における大滝ダムの洪水対応
----	--------------------

概要	<p>台風11号による洪水に対し、大滝ダムは防災操作を実施しました。</p> <p>●大滝ダムによる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムで約350万m^3の洪水を貯留しました。 ・ダムから下流に流す量を最大毎秒約500m^3低減しました。 ・下流の五條地点では、紀の川の水位を最大で約0.45m低下させる効果があったと推定されます。 ・下流の三谷地点では、紀の川の水位を最大で約0.18m低下させる効果があったと推定されます。 <p>※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。</p>
----	--

取扱い	—
-----	---

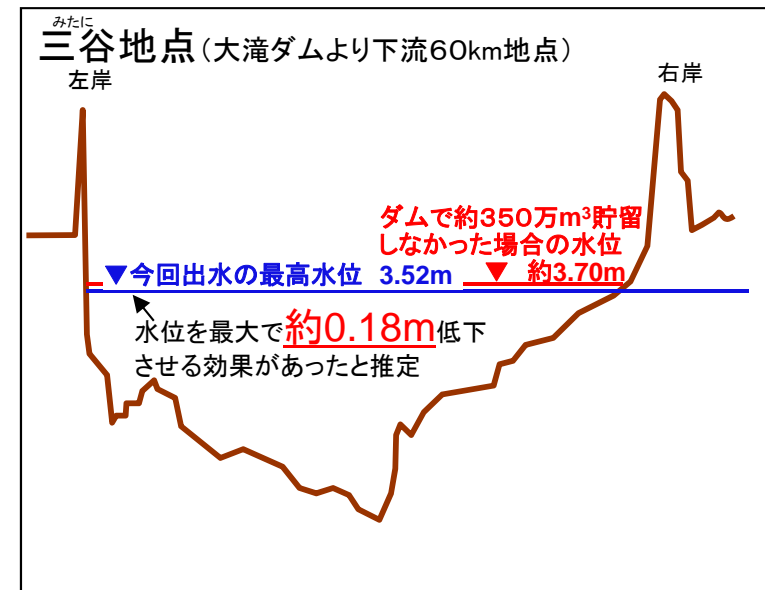
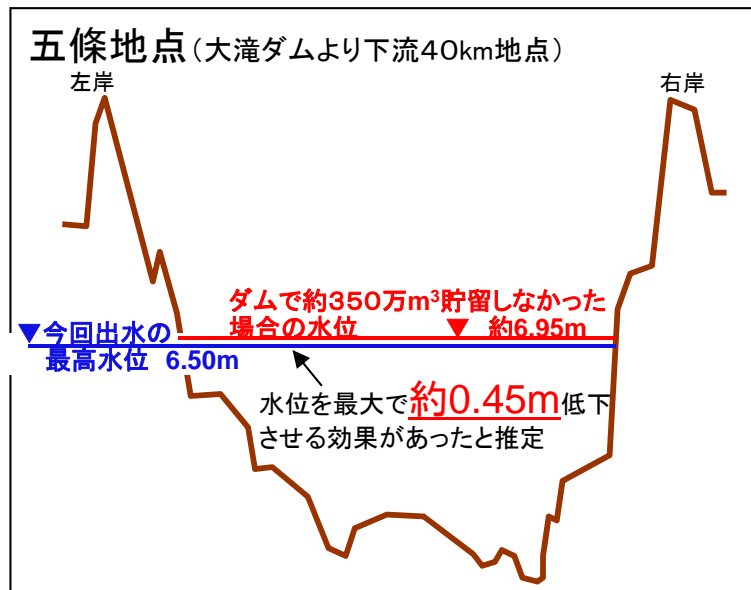
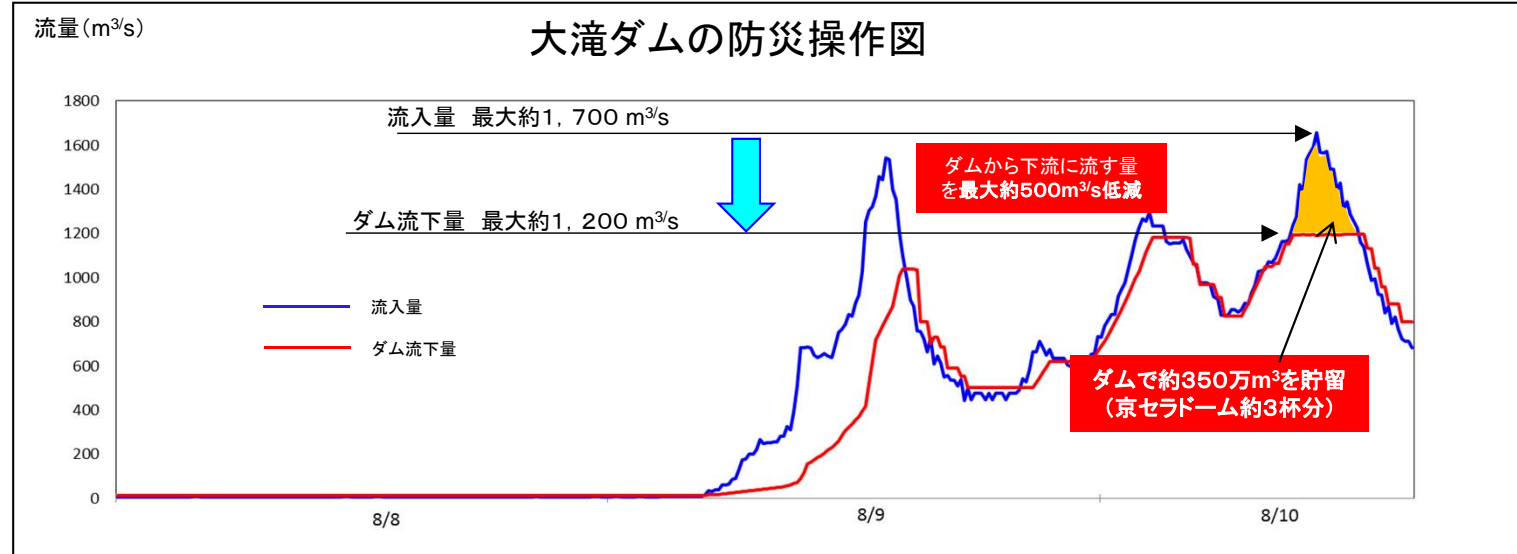
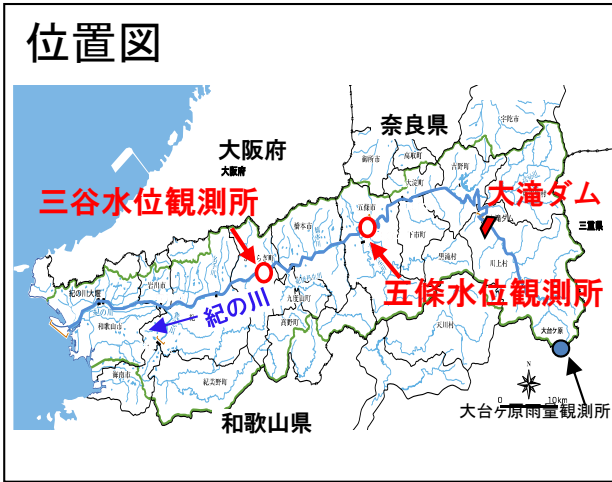
配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 奈良県政・経済記者クラブ 和歌山県政記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ 五條市政記者クラブ
------	---

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所 防災情報課長 早田 順英 電話 0747-25-3013
------	---

ダム整備が効果を発揮(奈良県 大滝ダム)

平成26年8月 台風11号

- 紀の川水系大滝ダム上流域において、8月8日から10日にかけて、流域平均の総雨量が652mm、時間最大雨量が62mm(大台ヶ原雨量観測所)となり、ダムへの流入量が約1,700m³/sに達しました。
- 大滝ダムでは、約350万m³の洪水を貯留し、ダム下流の五條地点(五條市新町付近)では、紀の川の水位を最大で約0.45m低下させる効果があったと推定されます。



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。